

みくに



〈ピザ焼けたかな〉

社会福祉法人 みくに園
障害者支援施設 みくに成人寮
TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902番地1
HP: <http://www.teshimamikunien.com>

わたしたち強い者は、弱くない者の弱さ
を担うべきであり、自分の満足を求めるべ
きではありません。

(ローマの信徒への手紙 15章1節)

「金木犀のよう」

事務主任 宮本 紗央里
(旧姓 大西)

朝晩すっかり涼しくなり、家から一歩出るとどこからともなく金木犀の香りがしてきます。私が一番好きな花です。金木犀が香る時期になると、よく散歩に出かけます。その香りをたくさん吸い込み、幸せに浸るのです。金木犀は、甘く素晴らしい香りに反して、控えめな小さな花をつけることから、「謙虚」という花言葉があります。私の周りにもこの金木犀の花言葉のような人がいます。

まず、障害者雇用のKさんです。Kさんは主にヤギの世話、草刈り、洗濯等を行います。一つひとつは地味かもしれません、どれも必要で大切な仕事です。みくに便りにも時々紹介されるヤギはKさんのお世話のおかげで人に良く懐く大人しい性格に成長します。草刈りはそんなヤギの餌にするべく、一生懸命刈っています。洗濯は、洗濯物を集めることから始まり、乾燥、各棟に運ぶ仕事まですべて行います。毎日朝から夕方まで泥だらけになりながら働く姿に、自然と「ありがとう」という言葉が出てきます。

もう一人は、菓子工房担当のKさんです。みくに園のシンボルでもあるレモンケーキは、瀬戸内国際芸術祭が開催されていることもあります。そのレモンケーキはKさんの手によって生み出されました。努力家のKさんは製造から販売までの一つひとつの工程を愛情を込めて丁寧にこなします。そんなKさんが作るレモンケーキだからこそ、今の人気に繋がっています。

そして、私が所属している事務所や、日々利用者さんと向き合っている生活支援員、美味しくて栄養のある食事を作りたいと試行錯誤している厨房職員、健康を見守る医務職員、そして美味しいいちごを作るいちご担当の職員。一つひとつの仕事は金木犀の花のように小さいけれど、みくに園を支える大切な仕事です。

私もみんなと一緒にみくに園を支える一員として、金木犀のよう谦虚さを忘れず、職務に当たりたいと思います。

遠足 ~島キッチン~

今年の遠足は豊島にあるレストラン「島キッチン」に行きました。

雨が心配で、前日からてるてる坊主を吊るした甲斐もあり、当日は気持ちのいい青空でした。約4Kmの道のりを歩き組のメンバー達は汗を流しながら張り切って歩きました。ドライブ組はのんびり豊島の景色を楽しみました。

島キッチンのシンボルでもある茶色の屋根の下で気持ちのいい風に吹かれながら、新鮮な魚と野菜を使ったお弁当をいただきました。冷えたうすみどりのオリーブサイダーが歩き組の汗を一瞬で吹き飛ばしてくれました。

(佐藤 記)



遠足 ~海のレストラン~

秋晴れの中、去年大盛況だった海のレストランへピザのランチを食べに行きました。海のレストランは海沿いにあり、海を見渡せるテラス席が魅力です。

お店のスタッフさんが持ってきた湯気が立ち上がるほど熱々ピザに全員の視線が釘付けでした。いろんな種類のピザを両手で持ち、大きな口を開けほおばります。

お腹いっぱい食べ、「おいしかったね」「また来たいね」と皆さん笑顔でした。



遮るもののない青空と青い海、そしてさわやかな海風を感じるテラスでのランチは最高でした。(片岡 記)



食欲の秋だ！—ピザランチ—

みくに園の園庭に1台のキッチンカーがやってきました。赤色に白のラインが映えるその車はなんとピザ屋さん。初めて見る車に利用者さんは大喜び。車の中の石窯で焼かれているピザの香ばしい匂いに誘われ思わず車の中を覗き込む利用者さんもいました。次から次へと焼かれるピザ、次から次へとお腹に入るピザ。とろけるチーズの熱々ピザをフーフーと言いながらほおばります。少し肌寒い日でしたが屋外でテラス気分を味わいました。利用者さんが食べた後職員も熱々のピザを頂きました。もちろん黙食で。利用者さんと一緒に食べることができませんでしたが、お腹いっぱいになり、食欲の秋を満喫した幸せな1日でした。ごちそうさまでした。

(高橋 記)



私の日課

3番館の自閉症のKさんは、日中はビーズの色分けなど手先を使う活動に取り組んでいますが、屋外で体を動かす活動を取り入れようと思い、ウォーキングすることにしました。

毎日のスケジュールに組み込むことで、14時になると「リング」と言い玄関で待っています。お気に入りの麦わら帽子を被り、手にはリングを5本持つて出かけます。1周歩くごとにリングを1本置き、5周歩いてリングが無くなると終わりです。目で見て終わりが分かるので、安心して歩いています。

途中で出会う職員や利用者さんに話しかけたり、時には菓子工房を覗いたりしながら歩きます。太陽の日差しを浴びて、颯爽と歩く姿は、とてもかっこよく見えます。

春の暖かな陽気の頃、出かけたKさんの様子を見に行くと、何度も立ち止まってはタンポポの綿毛を飛ばして楽しんでいました。その微笑ましい光景は今も忘れられません。真夏の暑い時期はしばらくお休みしていましたが、10月から再開しました。季節の移り変わりを楽しみなら、これからも毎日元気に歩きます。 (古川 記)



お助けマン



何にでも一生懸命なFさんは、誰かが困っていると、どこからともなくやって来て手を差し伸べてくれる、言わば1番館のお助けマンです。荷物運びや行事の準備など、声をかける前にやってきて手伝ってくれます。またFさんは、働き者で食事の準備やトイレ掃除、洗濯たたみなど、たくさんの役割を持っています。そんなFさんの忙しい1日は元気の良い挨拶から始まります。

食事の準備ではコップを配り、こぼさないように慎重にお茶を注ぎます。トイレ掃除では、専用のエプロンを身に着けトイレ全体を綺麗に磨き上げます。トイレ掃除ができない日は、「トイレ掃除は大丈夫かな?」と心配しています。Fさんにとってトイレ掃除は自分に任されたやりがいのある役割です。トイレ掃除が終わると、職員と一緒に自分の好きなキャラクターのスタンプを押します。スタンプが10個貯まると大好きな缶コーヒーと交換します。嬉しそうに話しながらコーヒーを飲む姿はヒーローのようにかっこいいです。

いつも元気で一生懸命なFさんに私たち職員は励まされています。たくさんの役割をありがとうございます。いつも助けてくれてありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。 (佐藤 記)

福祉車両寄付

品名 ダイハツ アトレースローバー 形式 S710V-ZBXZ 価格 2,450,000円

前号でお知らせした香川県応援ファンドからの寄付である福祉車両が8月末に納車されました。秋頃の予定でしたが思いのほか早く納車されうれしく思いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者さんは外出や大きな声で歌うこと、友達との距離を置くなど色々な制限を抱えています。その中の楽しみは島内のドライブです。ドライブは山の自然を感じ、大好きな船も見に行けます。今回寄付いただいた軽自動車は、車いすも乗れ、四輪駆動で豊島の坂道もスイスイ走ることができます。また、バックモニターや障害物へ近づくとブザーが鳴る機能も付いており職員も安心して運転できます。今まで以上にドライブに出かける機会が増え利用者の楽しみの幅が広がるのではないかでしょうか。関係者の皆様ありがとうございました。安全運転で、大切に使わせていただきます。

(高橋 記)



共同募金助成事業

助成事業名 廉價機器整備事業

電子レンジ6台・業務用炊飯器1台・製氷機1台・電気工事

事業費総額 1,323,300円 助成額 1,000,000円 自己資金 323,300円

この度、社会福祉法人 香川県共同募金会・令和4年度事業として助成を頂き厨房機器整備事業を行ないました。

近年人材不足が社会問題にある中、みくに園においても人材の確保が難しくなっています。厨房のスタッフも例外ではありません。その人材不足への対策の一つとして考えたのが、冷凍食材の利用です。冷凍食材は冷凍技術の発展でレパートリーも豊富で味もおいしくなっています。その食材を取り入れながら、個々の好みにも柔軟に対応するには電子レンジの台数を増やすことが必要でした。また台風や急な船の欠航時でも、オーブンなどの厨房機器よりも電子レンジは取り扱いが簡単で、仮に厨房スタッフが不在でも支援スタッフで対応することができます。日々の給食に、そして非常事態にも電子レンジは有効に活用できます。業務用炊飯器や製氷機もおいしい給食を提供するために必要です。皆様のご厚意のおかげで、厨房機器の整備ができました。ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

(高橋 記)



〈電子レンジ〉



〈製氷機〉



〈業務用炊飯器〉

訪問診療（歯科）

長年、みくに園まで診療に来られていた、池田歯科の橋本先生が、高松市仏生山町で開業され（はしもと歯科院長橋本信之介先生）みくに園まで来られなくなりました。橋本先生のご紹介で9月よりみき歯科三越通りクリニックの歯科医師三木武寛先生とスタッフの方が診療に来てくださっています。橋本先生、スタッフの方々が長い間ありがとうございました。そして三木先生、スタッフの方々これからよろしくお願ひいたします。



〈左から三木先生とスタッフさん〉

実習生受け入れ



10月17日～26日まで就実大学教育学部初等教育学科の学生3名の実習生を受け入れました。10日間みくに園の職員宿舎に泊まっての実習でした。豊島の地域活動の「歩け歩け大会」にも利用者さんや施設長と一緒に参加し、みなさんと歩きながら清掃活動を行いました。福祉の担い手として、みくに園で学んだことを役立ててほしいと思います。

〈東京芸術大学の皆さんによるヤギのスケッチ〉



ヤギの目で社会を見る「ヤギの目プロジェクト」の一環で東京芸術大学の皆さんがみくに園のヤギに会いに来てくださいました。ヤギの立派な角と高台でこちらをみている勇敢な佇まいに驚かれていました。

編集後記

朝晩めっきり涼しくなりすっかり爽涼の秋です。ご存じの通り〈読書の秋〉や〈スポーツの秋〉など、秋には様々な表現があります。皆様のところにはどのような秋が訪れていますか。みくに園に訪れた秋は〈食欲の秋〉でした。特に移動販売のHARUYAさんが焼いてくれた窯焼きの本格ピザは多くの利用者さんと職員の心の中に残っており「ピザおいしかった」「次回はいつなの?」などの声が今でも聞こえています。

そのような人の心に残るイベントをこれからも行いたいです。

*みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail:kgk0331@nifty.com FAX:0879-68-3920